

水稻の育苗開始時期です。 『いもち病対策を必ず行いましょう！』

☆いもち病は、まず苗いもち病を防ぐ事が、その後の葉いもち病、穂いもち病の対策として重要となります。

「特別栽培米」と「JA米」では使用する薬剤が異なりますので、以下の通り必ず実施してください。

○種子消毒による「いもち病対策」

★「いもち病対策」はまず種子消毒を徹底する事が重要！！

必ず実施！



浸種～
催芽



播種～
育苗



「特別栽培米」の場合

温湯消毒後

浸種～催芽時に24時間

「エコホープDJ」 200倍液に浸漬する。

- 容量比 1:2以上
種籾4kgに薬液8ℓ以上
- 薬剤温度
10℃以下、30℃以上は避けてください。
- 製造後6カ月以上経過したものは使用
しないでください。

★微生物を有効成分とした農薬です。

「JA米」の場合

播種直後にナエファインフロアブル
(1000倍液)とベンレート水和剤(500
倍液)を1箱当り500mℓ散布する。

▽ 1箱に500mℓ灌注



- 上記農薬は特別栽培米では使用できません。
- 上記農薬は「エコホープDJ」と併用できません。

○ご不明な点はJA各支所営農経済推進係、または普及指導センターへお問い合わせください。

令和5年産飼料用米(みなちから)の種子消毒について

令和5年産飼料用米「みなちから」では、「ごま葉枯れ病」への対策として、事前にテクリードCフロアブル(種子消毒剤)の吹付処理を行った種子を配送しております。

そのため、令和5年産ではベンレートT水和剤20(種子消毒剤)のみを使用し、種子消毒を行ってください。

病害虫、雑草防除基準

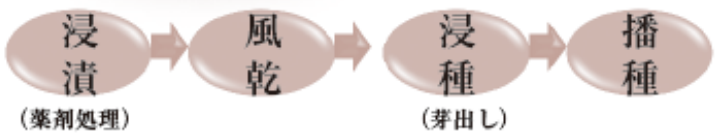
○種子消毒-①

- ・ 種子は10a当たり3.0kg準備する。
- ・ 播種量：150g/箱(乾粉120g)

播種量の確認を今一度お願い致します。

名 称	希釈倍率	使用方法
テクリードCフロアブル	200倍	24時間浸漬
ベンレートT水和剤20		

24時間の薬剤浸漬後、風乾する。
～パレット等を利用して行う～
(種籾の水切りは完全に行う。4～5時間以上)



また栽培ごよみにも記載していますが、薬剤浸漬後に風乾することにより薬剤の効果が高まります。

軽量型肥料(1袋15kg)を使用の際は、注意しましょう

例 特別栽培米 夢つくし

有機エムコート256
10a あたり 60kg

20kg 20kg 20kg

有機エムコート355
10a あたり 55kg

15kg 15kg 15kg 10kg

例 JA米 夢つくし

エムコート2000
10a あたり 35kg

20kg 15kg

エムコート2220
10a あたり 30kg

15kg 15kg